

これからの季節にも…

津野山地区より

三和サロンの皆さん

梅雨入り間近のある一日、津野町桑ケ市にあるとあるサロンにお邪魔しました。

「三和サロン」は同地区にある3集落での集まりで、地区の女性の憩いや情報交換の場として活動してきたそうです。お伺いした日は、3人の方が「米ぬか枕」を制作していました。

米ぬか枕は元々会員の中で、「こんなものがあるけど……」と試しに作った枕をサロンや地区の人に配ったところ評判がよく、道の駅やせいらんの里で販売するように。「使ってくれた人が喜んでもらえたらとの想いで作っていたので、機会があり販売が始まったときは楽しみが増えたね」と言葉を交わしたそうです。「冬だけでなくこれからの季節、エアコンで冷えた体を温めるのにもいいよ」と笑顔で話してくれました。

今後も活動を通して、元気にお過ごしください。



地元で愛される老舗和菓子屋さん

「松鶴堂」

まつおか ちづえ
(左から) 松岡 千津恵さん(43)
もとゆき
幹幸さん(42)

ご主人の松岡さんは京都の和菓子屋「末富」で5年間修業された後、地元の四万十町に戻り三代目を継承されました。2024年にお店は70周年を迎えるそうです。今の目標は「末永くお店を続けていくことです」と優しい笑顔でお話してくれました。

6月の下旬から夏に向けては、葛や寒天を使った涼しげなお菓子和抹茶のセットがオススメです。店内には1度に1組が入れる和菓子屋を頂けるスペースがあり、落ち着いた癒しのひと時を楽しめます。

四万十町にお越しの際は、是非おいしい和菓子を堪能してみてください。

四万十地区より



高西地区

から こんにちわ 今月の〇〇 気になる人

大野見地区より

自給自足的な暮らしがしたい!

すずき ややこ
鈴木 弥也子さん(23)

神奈川県横須賀出身の鈴木さん。大学時代には気候変動や環境問題について活動されていました。その中で「時給自足の暮らしがしたい」と思い、自然が大好きな鈴木さんは卒業後、中土佐町久礼にある中里自然農園に1か月間、住み込みで農作業を行うファームステイを始めたそうです。ファームステイを行いながら何度か大野見を訪れ、現在は中土佐町地域おこし協力隊として大野見地域のイタドリなどの加工販売促進を行っています。鈴木さんの夢は大学時代から変わらず「自給自足的な暮らしをすること」。最近では休みの日に狩猟始めたそうで、「どこでどうやって育ったか分からない白いトレーに入ったものでなく、自分で捕ったお肉を口にしたい」と話し、夢に向かって進んでいる鈴木さんの目がキラキラと輝いていました。「高知県は自然がたくさんあり、楽しい!」と充実しているそうです。これからも大野見地区をどんどん盛り上げていってください!



「町たんけん」勉強になりました!

なかじま さらき
(左から) 中嶋 咲桜さん(8)
なかじま めいさ
中嶋 萌桜さん(8)
ほき ゆあ
保木 優歩さん(8)

興津小学校3年生の3人が社会科見学「町たんけん」のため、興津支所に行ってきました。「町たんけん」の数日前に小学生から電話があり、緊張した様子でしたが、丁寧な言葉遣いで社会科見学のアポ取りをしてくれました。

当日は、元気な挨拶の声とともに小学生たちが来店。職員一人一人の説明を熱心に聞き、一生懸命ノートにメモを取っていました。「なぜJAで働いているのですか?」など、たくさんの質問もいただきました。見学を終えて、「行く前はすごく緊張していたけど、農協に着いたら職員の人が笑顔でやさしく話しかけてくれたので緊張がほぐれました。いろいろ農協のことを教えてもらったので勉強になりました」と感想を話してくれました。

来店前のアポ取りから始まり、当日の挨拶や質問の内容も一生懸命考え、たくさん練習してきた様子がすごく伝わりました。子どもたちが農協の支所は普段出入りすることが少ないので、こういった見学等で身近に感じてもらえるようになればうれしいです。

興津地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



親子と一緒に田植えをしています。

1 四万十地域

親子で田植え体験イベントを開催

5月21日、今年で7回目となる株式会社フジ・JA高知県との協同企画「親子で体験田植え&稲刈り」イベントが行われました。食の大切さや農業の大変さ、楽しさを知ってもらい、農業に親しんでもらおうと企画されたもので、初夏には田植え、秋には稲刈りを体験できるということで、高知県内から4家族15人が参加しました。

参加者は管内の山本道雄さんの田んぼで、エコ栽培米部会員の皆さんの協力のもと、

5月21日、今年で7回目となる株式会社フジ・JA高知県との協同企画「親子で体験田植え&稲刈り」イベントが行われました。食の大切さや農業の大変さ、楽しさを知ってもらい、農業に親しんでもらおうと企画されたもので、初夏には田植え、秋には稲刈りを体験できるということで、高知県内から4家族15人が参加しました。

参加者は管内の山本道雄さんの田んぼで、エコ栽培米部会員の皆さんの協力のもと、

苗をしるしに沿って丁寧に植えていきました。田んぼに入るのが初めての子どもも、子どもたちからは「初めて入る田んぼは又メヌメしていてもわらかくてとても楽しかったです！ 次の稲刈りも楽しみ。」などの声が聞かれ、泥だらけになりながら田んぼの感触を楽しんでいました。次回は秋の稲刈りです。管内の農業や自然のPRとして、こうした体験イベントを今後も企画していきます。

2 津野山地域

梶原高校 体験を通して地域農業を学ぶ



梶原高校3年生の生徒の皆さん

今年から、JA高知県は梶原町・津野町、県須崎農業振興センターと連携し、県立梶原高等学校の農業コースを選択している2・3年生を対象に出前授業を開催しています。津野山地区の農業について自ら体験し、農業に興味をもち、未来の担い手になってもらえたらという思いで取組を始めました。

初回は6月2日、同校の茶畑にて茶摘み体験と、釜炒り茶の体験を行いました。

ペットボトルのお茶しか飲んだことがないという生徒が

大半でしたが、この機会に茶業から淹れるお茶のおいしさを知ってもらえたらと期待しています。

今後も農家さんに協力をいただき津野山地域の野菜や特産品、農業について数回の授業を通して、続けていく予定です。出前授業は土佐甘とう、米ナス、ユズを計画しています。

3 四万十地域 笑顔で溢れたフォークダンス交流会



様々な踊りが披露されました。

5月11日、JA四万十地区女性部文化教室として活動している民踊クラブはフォークダンス交流会を開催しました。民踊クラブは講師を招き、毎月3回程、踊りの練習を行っています。新型コロナウイルスの影響で発表の機会が減り、少しでも交流の場を作りたいという思いから感染防止対策を徹底し、企画されたものです。

会ではフォークダンスやラウンドダンス、日本民踊が披露されました。最後にはよさこい鳴子踊を披露するなど会場は終始笑顔で溢れていました。

4 津野山地域 梶原学園の野菜植付体験



大きくなるようみんなで一生懸命植付ました。

5月24日、梶原学園では、恒例となったサツマイモやキュウリの植え付けが行われました。当日は日差しも強く、暑い中での作業となりましたが、子供たちは元気いっぱいサツマイモと野菜の苗を植えていきました。最後は、「おいしくなれ！」とみんなでたっぷり水をあげて成長を楽しみにしていました。夏と秋にはそれぞれ美味しい野菜・お芋の収穫です。たくさん収穫ができるようお世話頑張ってください！

5 四万十地域 令和4年度夏秋ピーマン病害虫対策講習会



病害虫について説明が行われています。

5月12日、四万十管農経済センターと高南農業改良普及所は夏秋ピーマン病害虫対策講習会を行いました。5月に苗植え、6月から始まる収穫に向け、これから夏に発生する病害虫の初期の対策や病気の予防に対する知識を深めることを目的に行われています。

部会員ら17人が参加し、病害虫、農薬使用の注意点やRACコードを使った効果的な防除方法について説明が行われ、参加者は熱心に受講していました。これからも安心安全な農産物の出荷に向けて講習会を行っていきます。

6 津野山地域 米ナス現地検討会を開催



熱心に意見交換する生産者

津野山なす部会では、米ナスの栽培管理と技術の意見交換を目的に、現地講習会を開催しました。初期からの温度を高め管理することで、初期生育の安定と生長を促進しているとの話には、「逆の管理をしていたかも、すぐにでも試してみたい」「自分のハウスよりも樹勢が強く、参考にしたい」など熱心に意見交換していました。

昨年より2戸生産者が減っていますが、今年も前年を超える収量を目指して部会一丸となって取組を進めていきます。

津野山地域より

加工用ワサビ生産者



【栽培期間】

作目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
加工用わさび	圃場準備	定植	かん水・追肥	温度管理	病害虫防除		収穫	調整	栽培終了片付け

【1aあたり生産収支の例※】

収量	kg単価	売上	経費(約30%)	精算額(所得率約70%)
400kg	350円	14万円	約4万円	10万円

※この経営収支は津野山地域の過去の実績を基に算出しています。収量や所得を保証するものではありません。

【栽培のメリット】

- ・遊休施設の有効利用が可能。
- ・冬場の津野山地域でも栽培可能。
- ・栽培の際のコストが少ない。
- ・契約栽培のため価格が安定している。



◎興味のある方はお気軽にご相談ください。

問い合わせ先：JA高知県 津野山営農経済センター 経済課

高知県高岡郡津野町北川2281-4 (TEL. 0889-62-2335) (FAX. 0889-62-2381)

新 | 規 | 就 | 農 | 相 | 談 | 会

津野山地域で農業を始めてみませんか？

7月27日(水) 13:30～ 予約制

申込期限：7月22日(金)まで

場 所：JA高知県津野山経済営農センター (津野町北川2281-4)

津野山地域営農連絡協議会では、新たに就農をお考えの方を対象に相談会を開催します。研修事業や支援制度、農業経営に関する経営開始前・経営開始後に必要な取り組みなどについて個別相談しませんか？
<オンラインでの相談も可能です。お申込み時にお申し付けください。>

就農に向けた支援事業

- 研修等 ⇒⇒⇒ ○担い手支援事業【青年農業者支援区分・後継者育成支援区分等】
- ハウス導入 ⇒⇒⇒ ○園芸用ハウス整備事業
- 給付金等 ⇒⇒⇒ ○新規就農者育成総合対策事業【就農準備資金、経営開始資金等】
- その他 ⇒⇒⇒ ○農地情報 ○農業制度資金 ○農業共済保険 など

◎申込・お問合せ先：津野町産業課 (TEL. 0889-55-2021)

梶原町産業振興課(農政係) (TEL. 0889-65-1250)

※上記の日程以外でも、随時相談は受け付けています。ぜひお気軽にご相談ください。



四万十地域より

土壌分析のススメ！

近年、肥料コストの高騰により土壌診断の重要性がより注目されています。

作付け前に土壌を診断し、適正施肥を行う事により作物の安定生産だけでなく、肥料コストの低減につながります。

営農指導課で行う土壌分析については、下記のスケジュールで行いますので是非ご利用ください。

*ニラ、ミョウガ、ショウガ、ハウスピーマン、アスパラガス、キュウリ、露地シシトウの品目部会では、エコシステム栽培に取り組んでおり、土壌分析が取り組み要件となっています。

<分析スケジュール>

四万十地区

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
		施設栽培対象	施設栽培対象	露地栽培対象(水稲含む)	露地栽培対象	露地栽培対象

*施設栽培分析については部会単位で周知します *露地栽培分析については広報にて周知します

<分析項目>

① pH(酸性土壌) ② EC(電気伝導度) ③ リン酸 ④ カリ ⑤ 石灰 ⑥ 苦土 ⑦ 腐食 ⑧ ケイ酸(水稲のみ)

<料金>

品目部会以外の方の分析については、10点を超えるものについて1点当たり330円(税込み)が必要となります。

*品目部会の方については無料

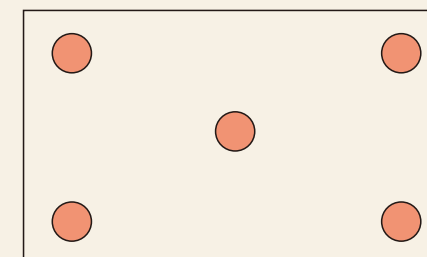
<提出物>

※土の提出時に、「土壌分析申込書」を記入してください。

※土を入れたビニール袋に黒マジックで「氏名・申込書の圃場番号」を記入してください。

<土の採り方及び注意点>

元肥投入前の土壌採取



注：持ち込みから処方せん発送まで約1ヶ月程度かかりますので、ご注意ください。

※1点(1圃場)につき、5ヶ所くらいから均等に採土しビニール袋に入れ良くまぜてください。

※持ち込む土の量は5ヶ所とった土の量の合計がお茶碗一杯になる程度でかまいません。

※タバコの灰や肥料、堆肥等が混入すると分析値が狂います。(肥料袋は使用しないこと)

※土は乾かして持ち込みをお願いいたします。(乾かしていない場合は、乾かして持ち込まれる場合と比べて結果が分かるまで時間がかかります。)

◎お問合せ先：JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課

高知県高岡郡四万十町榑山町586-2 (TEL. 0880-22-0003)

(FAX. 0880-22-5177)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

道沿ひの塀いろどりてクレマチス
雨晴れて川の向うに鯉幟

市川 和美

水堀へ代田ととのふ仁井田郷
螢火や自肅の闇に点滅す

長谷部 延子

田蛙の大合唱に目覚めけり
興津坂海に向かひて山笑ふ

今橋 孝子

母の日に匠の弁当買い来る娘
朝食のテレビで眺める初夏の富士

竹内 春猪

納屋の中燕の糞を避けてゆく
峡の里水面にざわす蚩かな

田中 信子

短歌

窪川短歌教室

爆撃をさるる以前のウクライナに黄と青の花の公園ありき

黒岩 やよえ

名も知らぬ鳥の声して澄む空の彼方の国の平和を祈る

文野 見枝子

しじゅうから今年も巣箱に帰りきて日々の楽しみまた一つ増ゆ

中内 佐登美

「耳遠く腰はつの字になつたぞね」電話のむこうの友は明るし

市川 隆子

柔道や秋田大好きのブーチンとウクライナ侵略とが結びつかない

島岡 紀美

喪の花と思ふまで濃きむらさきの花びらを解く庭のもくれん

市川 浩子

十二年つとめし役を退きし午後友の手製のケーキがとどく

北村 さちこ

俳句

おたよりから

朝焼けの神を信じて手を合わし

(津野町・弘瀬 秀頼)

喜雨の音聞きて一人の居間広し

(津野町・村田 三喜子)

にんにくにあとひといきの春の雨

(四万十町・森田 杉彦)

やまやまはわかばがはえてうつくしい

(梶原町・二宮 祥子)

INFORMATION

お知らせ

献茶スタッフ(パート・アルバイト)募集

仕事内容 葬祭会場での準備・接客・掃除等

*未経験者可
*詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ JAメモリアルこうち四万十営業所
(JA葬祭ルミエール四万十)
四万十町榊山町9-7
TEL 0880-22-5900